



青葉 1月

「変化」を「進化」に

校長 鈴木 彰

新年あけましておめでとうございます。

2024年が皆様にとって幸多い、輝かしい年になりますようお祈り申し上げます。

昨年、新型コロナウイルス感染症の位置付けが2類から5類に変わり、社会生活も学校生活も元に戻ってきた印象です。今年も「変化の一年」となりそうです。しかし、何もかも元に戻るということはなく、この4年間に考え直した様々なことが複雑に取り入れられながらの変化となっています。運動会が半日開催となっているのも一つの例でしょう。社会の変化と共に学校の在り方も大きく変化しています。



私が子どもだった頃、教室の黒板は、木でできていました。黒板には剥がし残したセロハンテープがくっついていたり、黒板の塗装がテープ型に剥げていたりしました。しかし、大人になり、教師になったら、「あれ?」、黒板に磁石がくっつくようになっていました。いつの間に黒板は鉄素材に変わったのだろう…。でも、今はそれが当たり前です。

**この世で生き残る生物は、
最も頭のよい生き物でも、
最も強い生き物でもなく、
最も変化に対応できる生き物だ。**

これは、ダーウィン(進化論)の言葉です。日々刻々と 時には劇的に変化する世の中に
対応できる学校に、また、変化に対応できる子に、変化を基に成長する子に育てる一年
にしたいと思っています。むしろ、もっと進歩した学校にするために、自ら変化してい
く一年にしたいとも考えます。

喜劇で有名なチャップリンは、「あなたの最高傑作は？」の質問に

「Next one! (次の作品さ!)」

と答えたそうです。

変化に不安を感じるのではなく、「変化」の先の「進化」を目指し、それを
楽しみにするエネルギーをもちたいものです。きっと、それは黒板の素材と同じように、何年後かには「当たり前」になっていることでしょう。

変化し続ける青葉台小学校です。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

